



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 新光商事株式会社

コード番号 8141 URL <http://www.shinko-si.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北井 暁夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 正木 輝

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-6361-8111

平成24年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	85,692	43.1	2,586	139.1	2,547	120.7	1,576	137.6
24年3月期第2四半期	59,871	△3.6	1,081	△8.8	1,154	△9.8	663	△8.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,099百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 9百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	64.32	—
24年3月期第2四半期	26.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	88,231	49,106	55.2	1,986.10
24年3月期	82,237	48,375	58.3	1,956.75

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 48,684百万円 24年3月期 47,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	6.4	3,300	17.1	3,300	23.5	2,000	45.9	81.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	24,855,283 株	24年3月期	24,855,283 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	342,709 株	24年3月期	342,591 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	24,512,630 株	24年3月期2Q	24,753,736 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が見られるものの、欧州の金融危機や中国をはじめとする新興国の経済成長鈍化の影響により、輸出産業が低迷しているため、依然として厳しい状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、国内においては、中国を中心とする設備投資の鈍化により、産業機器関連が低迷いたしました。自動車電装関連は北米市場の回復により堅調に推移いたしました。一方、娯楽機器関連につきましては、市場の底打ち感に加え、主要顧客の新機種投入もあり売上高は大幅に増加いたしました。

海外においても、アジアでは、ローカル企業向けや欧米系企業向けは欧州の金融危機の影響を受け、震災の影響のあった前年同四半期連結累計期間と同様に低調に推移いたしました。北米向け自動車電装関連は前年同四半期連結累計期間を上回り、売上高は増加いたしました。また、娯楽機器関連においては国内同様に、好調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高 856億92百万円（前年同四半期比43.1%増）、営業利益 25億86百万円（同139.1%増）、経常利益 25億47百万円（同120.7%増）、四半期純利益 15億76百万円（同137.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

電子部品事業

電子部品事業におきましては、売上高は579億13百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。

① 集積回路

国内においては、産業機器関連が中国向け輸出産業中心に低調に推移したものの、娯楽機器関連・自動車電装関連を中心に増加いたしました。海外においても、北米向け自動車電装関連が好調に推移いたしました。

以上の結果、集積回路の売上高は239億6百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

② 半導体素子

国内においては、自動車電装関連が好調に推移したものの、産業機器関連が全体的に、低調に推移いたしました。海外においても、国内同様に産業機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、半導体素子の売上高は75億55百万円（前年同四半期比5.3%減）となりました。

③ 回路部品

国内においては、産業機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、回路部品の売上高は70億26百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

④ 電子管

国内においては、娯楽機器関連の好調を受けて、増加いたしました。

以上の結果、電子管の売上高は52億43万円（前年同四半期比155.1%増）となりました。

⑤ その他電子部品

国内においては、OA関連・産業機器関連が低調に推移いたしました。娯楽機器関連の好調を受けて、増加いたしました。

以上の結果、その他電子部品の売上高は141億82百万円（前年同四半期比48.5%増）となりました。

アッセンブリ事業

アッセンブリ製品

国内においては、娯楽機器関連において、主要顧客の新機種投入により大幅に増加いたしました。また、海外においても、上記理由により娯楽機器関連向けが大幅に増加いたしました。

以上の結果、アッセンブリ製品の売上高は260億46百万円（前年同四半期比266.6%増）となりました。

その他の事業

電子機器及びマイクロコンピュータの受託開発、ソフトウェア製作

国内において、パソコン向け光ディスクドライブの売上が低調に推移し、減少いたしました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータの受託開発、ソフトウェア製作の売上高は17億32百万円（前年同四半期比36.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は824億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億27百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が12億2百万円、商品及び製品が32億70百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が110億29百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は57億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億33百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が63百万円増加したものの、投資有価証券が3億31百万円、無形固定資産が76百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、882億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億93百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は348億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億54百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が45億54百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は43億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円減少いたしました。これは主に退職給付引当金が1億3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、391億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億62百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は491億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億31百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が12億8百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が1億54百万円、為替換算調整勘定が3億37百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は55.2%（前連結会計年度末は58.3%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が24億49百万円（前年同四半期比121.3%増）となり、たな卸資産の減少、仕入債務の増加、短期借入金の実行等があったものの、売上債権の増加、短期借入金の約定弁済等があったことにより、前連結会計年度末に比べ12億2百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末においては165億7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は6億55百万円（前年同四半期は27億86百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が24億49百万円、たな卸資産の減少30億11百万円、仕入債務の増加48億5百万円の収入等があったものの、売上債権の増加112億65百万円の支出等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は43百万円（前年同四半期比68.6%減）となりました。これは主に投資有価証券の売却による1億41百万円の収入等があったものの、投資有価証券の取得1億6百万円、有形固定資産の取得66百万円の支出等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億69百万円（前年同四半期は8億1百万円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の実行11億60百万円の収入等があったものの、短期借入金の約定弁済11億60百万円、配当金の支払3億67百万円の支出等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の市場環境につきましては、中国の反日感情による日本製品の不買運動や、欧州の金融不安による市場への影響、円高や資源の高騰など、先行き不透明な状況がさらに続くものと見ております。

連結業績予想につきましては、平成24年10月26日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,710	16,507
受取手形及び売掛金	35,081	46,111
商品及び製品	15,099	11,829
仕掛品	4	45
繰延税金資産	431	430
未収入金	7,608	7,300
その他	255	245
貸倒引当金	△62	△15
流動資産合計	76,128	82,455
固定資産		
有形固定資産	1,325	1,334
無形固定資産	263	186
投資その他の資産		
投資有価証券	2,249	1,917
繰延税金資産	391	454
その他	1,888	1,890
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,520	4,254
固定資産合計	6,109	5,775
資産合計	82,237	88,231
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,961	30,515
短期借入金	1,310	1,317
未払法人税等	850	873
役員賞与引当金	6	25
その他	1,319	2,070
流動負債合計	29,447	34,802
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
再評価に係る繰延税金負債	153	153
退職給付引当金	1,059	956
役員退職慰労引当金	3	—
資産除去債務	4	4
その他	193	208
固定負債合計	4,414	4,322
負債合計	33,862	39,124

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,600	9,600
利益剰余金	30,727	31,936
自己株式	△223	△223
株主資本合計	49,606	50,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	△118
繰延ヘッジ損益	△2	—
土地再評価差額金	215	215
為替換算調整勘定	△1,889	△2,227
その他の包括利益累計額合計	△1,641	△2,130
少数株主持分	410	422
純資産合計	48,375	49,106
負債純資産合計	82,237	88,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	59,871	85,692
売上原価	54,892	79,200
売上総利益	4,978	6,491
販売費及び一般管理費	3,896	3,905
営業利益	1,081	2,586
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	20	20
仕入割引	1	34
為替差益	56	—
雑収入	23	10
営業外収益合計	113	78
営業外費用		
支払利息	27	27
為替差損	—	78
雑支出	12	10
営業外費用合計	39	116
経常利益	1,154	2,547
特別利益		
投資有価証券売却益	—	9
その他	—	2
特別利益合計	—	11
特別損失		
投資有価証券評価損	35	70
その他	11	38
特別損失合計	47	109
税金等調整前四半期純利益	1,107	2,449
法人税等	412	859
少数株主損益調整前四半期純利益	694	1,590
少数株主利益	30	14
四半期純利益	663	1,576

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	694	1,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174	△154
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	△512	△339
その他の包括利益合計	△684	△491
四半期包括利益	9	1,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18	1,086
少数株主に係る四半期包括利益	28	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,107	2,449
減価償却費	131	118
減損損失	—	7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9	△102
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	△3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△47
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	18
受取利息及び受取配当金	△30	△33
支払利息	27	27
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	4
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	3
投資有価証券評価損益 (△は益)	35	70
売上債権の増減額 (△は増加)	546	△11,265
未収入金の増減額 (△は増加)	222	△5
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,398	3,011
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,886	4,805
未払又は未収消費税等の増減額	146	299
その他の資産・負債の増減額	278	806
その他	△6	7
小計	2,938	172
利息及び配当金の受取額	30	32
利息の支払額	△17	△27
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△165	△833
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,786	△655
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6	△106
投資有価証券の売却による収入	—	141
有形固定資産の取得による支出	△14	△66
有形固定資産の売却による収入	0	16
無形固定資産の取得による支出	△5	△31
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	0	0
その他の支出	△128	△114
その他の収入	14	116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139	△43

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,806	1,160
短期借入金の返済による支出	△5,132	△1,160
長期借入れによる収入	2,500	—
長期借入金の返済による支出	△1,000	—
リース債務の返済による支出	△0	△0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△372	△367
財務活動によるキャッシュ・フロー	801	△369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△185	△134
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,262	△1,202
現金及び現金同等物の期首残高	10,608	17,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,871	16,507

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,047	7,105	2,718	59,871	—	59,871
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	50,047	7,105	2,718	59,871	—	59,871
セグメント利益	1,734	234	74	2,043	△962	1,081

(注) 1. セグメント利益の調整額△962百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△962百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第 2 四半期連結累計期間（自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,913	26,046	1,732	85,692	—	85,692
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	57,913	26,046	1,732	85,692	—	85,692
セグメント利益	2,623	842	79	3,546	△960	2,586

(注) 1. セグメント利益の調整額△960百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△960百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。